

文教福祉委員会

【テーマ：「マタニティ期からの子育て」】

ご意見としていただくもの
＜マタニティ期で良かったこと＞
・出産に費用があまりかからなかった。家族がやさしかった。お米券をもらったのがうれしかった。年の差兄弟なのでお兄ちゃんふたりがいてとても助かった。
・妊娠できて幸せ。支援サービス実は充実してた。産後ケア、妊娠中のヘルパー増。検診費ほぼゼロ。
・我が子を一番最初に抱いた感動。赤ちゃんの匂いが癒やされる。手伝ってくれる人が周りにたくさんいる。子ども医療（6ヵ月で生まれ入院費）。
・マザークラスがあった事。二日市コミュニティセンターに「あかずきん」がある。（無料のおもちゃ貸し出し）。多胎児サークルの紹介がH・Pにある。（マンマルサークル）。
＜ゼロ歳から3歳期良かったこと＞
・仕事復帰のため50日～保育所に入園できたこと。土曜日の保育。病気になっても診てくれるところがある。災害（台風、大雨）のときでも子どもを預けられた。
・近くの公園でたくさん遊べた。年が近いのでお下がりがあった。保育所の連絡帳が1日のことが分かるように書いてあってホッとする。
・思ったよりすぐ保育所に入れた。図書館が充実。
・生後2ヵ月で寝返り。幼稚園に入れたので3歳まで一緒に過ごせた（成長をみる）。兄、妹ができる。市から保育士訪問（話し相手）。
・児童手当がありがたい。第3子から金額もアップし助かる。退院前に病院でエステをしてもらった。
＜3歳～就学までで良かったこと＞
・公園の駐車場が広い、多い。保育料がかからなくなった。筑紫野市の子育て支援はここ数年かなり充実したと思う。古着回収があるので助かる。
・買い物中、子どもに優しい声かけをしてくれる人がいた。就学児健診の時にだいたいの人数が分かるので助かる。
・いろんな支援体制がある。おもちゃ図書館最高。宣伝を。
・地域サロンは仕事していると行きづらい。就学前、相談もう少し早く。夏、雨の日遊ぶ所がない。砂場等、公園の整備を充実して。
・外出が楽になる（荷物が減る）。アレルギー除去食があって助かった。ごはんをたくさん食べてくれる。ゆっくり寝れる。育児（発達）相談窓口があって助かった。
・医療費が安い。無料駐車場のある公園が多い。
＜3歳～就学までで困ったこと＞
・近所に同じ保育園に通っている人が少なく、小学校に上がって苦労した。保護者会の役員業務の負担が大きい。未就園児クラスを幼稚園でも増やしてほしい。

回答できるもの
＜マタニティ期で困ったこと＞
・出産費がたりない。2日で退院した。上の子のお世話、子育て。実家が遠い。仕事しながらのつわり。情報がなかなか入ってこない。（自分で探すスマホ）。切迫早産。予定日超過した後、心配。
○これからのことになりますが、つわりや切迫流産、心身の不調が確認できた家庭、生後4か月までの赤ちゃんがいる支援が必要な家庭は、赤ちゃんホームヘルパーの派遣事業による、きょうだいのお世話や家事支援を受けることができますので、こども家庭課へお問い合わせください。一部負担があります。 医療は県の所管ですので、産科医については、ご意見として伺います。
・支援が少ない。運営・企画、窓口がない。ママ・パパ講習が土日がない。仕事でいけない。
○「支援が少ない。運営・企画、窓口がない」については、具体的な内容がわからないので、ご意見として伺います。 ママ・パパ講習の土日の実施については、担当課が、今後検討するとのことです。
＜ゼロ歳から3歳期困ったこと＞
・保育料が高かった。保育園に入りにくい。予防接種の書類を事前にほしい。健診に行く時にかなりまたされる。入所書類の受付時間が限られているので渡しにくい。
○保育料は、現在は、第2子は半額、第3子は無料です。所得階層に応じて国の基準よりも保育料の軽減されています。 予防接種の予診票は、紛失した場合も対応できるよう医療機関に設置しています。 検診時の待ち時間については、具体的な状況がわかりませんのでご意見として伺います。 入所書類の受付については、一部郵送も可能なケースもあるようですので、市役所子ども政策課へお問い合わせください。
＜3歳～就学までで困ったこと＞
・親の体力。子どもの体調で仕事の休みをもらうのが多かった。駐車場がない。公園に行くにくい。毎週、1～2回の弁当。山家幼稚園、給食に。保育所の建替希望。
○公園に駐車場がなく、いきにくいとのご意見、保育所の建て替えについては、ご意見として伺います。 山家幼稚園の給食について。小中学校の学校給食は、学校給食法に基づいて提供されていますが、幼稚園の給食については、基づく法がありません。このため、市独自に園児の栄養管理を行う栄養士の配置、アレルギー対策施設整備等が必要になるなど、多くの課題があります。このようなことから実施は難しいようです。
・子育て支援施設が土日やっているところがない。待機児童が多く保育所に入れないことを知らなかった。病児保育が利用しづらい。（施設数、予約の運用）。
○子育て支援施設の土日開設は、行政も今後の課題としているということです。保育士の常駐はないけれども、カミリーヤのプレイルームは利用できるとのことです。文教福祉常任委員会としても課題とします。

今後の課題とするもの
<マタニティ期で困ったこと> ・陣痛タクシーがなくて困った。買い物に行くとき、荷物が重かった。保育所に入所できるのか不安があった。 ○陣痛タクシーについては、文教福祉常任委員会で調査します。待機児童対策として、令和7年4月に1カ所の保育園が新設される予定です。行政としては、乳幼児数と保育所入所希望数の状況に注意しながら必要に応じた対策を検討することです。 ・双子の会を知らなかった。入会しやすくしてほしい。マタニティタクシー。パパの育休を使えなかった（知らなかった）。お産できるクリニック減。 ○多胎児サークル「まんまるスマイル」については、行政としても情報発信をしていくことです。多胎児サークル「まんまるスマイル」にもご意見をお伝えください。マタニティタクシーについては、文教福祉常任委員会で調査します。医療は県の所管ですので、産科医については、ご意見として伺います。 ・つわりが酷すぎる時の支援。上の子のお世話。日々の生活。常に市内で受診できる夜間病院があると良い。今は日によって市外まで行く必要がある。 ○妊婦の、つわりや切迫流産、心身の不調が確認できた家庭、生後4か月までの赤ちゃんがいる支援が必要な家庭は、赤ちゃんホームヘルパーの派遣事業による、きょうだいのお世話や家事支援を受けることができますので、こども家庭課へお問い合わせください。一部負担があります。医療は県の所管ですので、産科医については、ご意見として伺います。
<ゼロ歳から3歳期困ったこと> ・おむつ代等の負担が大きい。病気の時の預け先がない。病児保育が利用しづらい。何月生まれでも入所しやすくしてほしい。 ○おむつ代については、ご意見として伺います。病児保育については、令和5年度から協定締結市町村での広域利用ができるようになり、増やす努力が、行政でも行われていますが、利用可能な施設を感染症の流行時は、利用申込数が増え、また感染症ごとに保育室を分ける必要があるなどの状況で予約がとりにくいことが生じるようです。現状と課題について文教福祉常任委員会で調査します。待機児童対策として、令和7年4月に1カ所の保育園が新設される予定です。行政としては、乳幼児数と保育所入所希望数の状況に注意しながら必要に応じた対策を検討することです。 ・ファミサポに預けづらい。見守り会員少ない。土曜日、保育所預けにくい。4～5ヵ月から集団検診してほしい。発達相談をなかなか受けることが出来なかった。双子サークル、親が運営、大変。病児システム悪い。少ない。小児科誘致して。第3子の保育料。支援センターもっと充実してほしい。児童館がほしい。市民プールがあると便利。夏の暑い日、雨の日、室内であそべる場所がない。ほしい。 ○ファミリーサポートについては、毎年会員を増やす取り組みが行われ、まかせて会員も令和4年度に17人、令和5年度に14人に新たな登録をいただいているそうです。有償ボランティアの仕組みですのでご理解をお願いいたします。土曜日に保育所に預けにくいとのご意見はほかにも頂きましたので、文教福祉常任委員会で調査します。集団検診については、医師や専門スタッフの確保が必要なため、難しいようです。発達相談が受けにくかったことについては、ご心配だったことと思います。令和6年度から相談員を1名増やしています。双子サークルについては、サークルでご相談をお願いいたします。医療は県の所管ですので、小児科医については、ご意見として伺います。病児保育については、令和5年度から協定締結市町村での広域利用ができるようになり、増やす努力が、行政でも行われていますが、利用可能な施設を感染症の流行時は、利用申込数が増え、また感染症ごとに保育室を分ける必要があるなどの状況で予約がとりにくいことが生じるようです。現状と課題について文教福祉常任委員会で調査します。 ・仕事と育児の両立がきつい。オムツ、ミルクの出費。おっぱいを飲んでくれない。子の便秘。体調不良時の子のお世話。育休中の収入減。保育所、幼稚園を探す。イヤイヤ期と後追い。赤ちゃん返りの対応。病院の予約が取れない。子育て支援センターが広く充実してたらいいな。

・食わず嫌いがとても多い。イヤイヤ期がすごくて一緒に泣いた。将来の学費が不安。病児保育はとても助かるが、無償になったからか、ほぼ預けられない。もう少し預けれる所を増やしてほしい。予約が取れやすくしてほしい。夜泣きがひどかった。たまにはゆっくり寝たかった。

○病児保育については、令和5年度から、協定締結市町村での広域利用ができるようになり、利用可能な施設を増やす努力が行われていますが、感染症の流行時は、利用申込数が増え、また感染症ごとに保育室を分ける必要があるなどの状況で予約がとりにくいことが生じるようです。現状と課題について文教福祉常任委員会で調査します。
生後4か月までの赤ちゃんがいる支援が必要な家庭は、赤ちゃんホームヘルパーの派遣事業による、きょうだいのお世話や家事支援を受けることができます。また、産後ケアのサービスもありますので、こども家庭課へお問い合わせください。一部負担があります。

< 3歳～就学までで良かったこと >

・地域サロンは仕事していると行きづらい。就学前、相談もう少し早く。夏、雨の日遊ぶ所がない。砂場等、公園の整備を充実して。

< 3歳～就学までで困ったこと >

・インフルエンザの予防接種が高い。保育所の駐車場を広く（二日市）。歩道が狭くて散歩の時が心配。二日市保育所の駐車場として購入した土地があるはず。

○インフルエンザ予防接種は、任意で受けるため市からの助成はありませんが、ご意見として伺います。

二日市保育所の駐車場用地については、文教福祉常任委員会で調査します。

・保育所の給食費を現金で決められた時間に支払うのが大変。保育園での保護者間トラブルがあり転園した。給食の量が足りてないのか毎日「おなかすいた」と帰ってくる。

○給食費の支払い方については、文教福祉常任委員会で調査します。
おなかですくのは元気に遊ばれているからではないでしょうか。給食は、おやつを含め、お子さんの月齢や年齢に合わせ、管理栄養士が栄養バランスやカロリー計算をして提供されていますのでご理解をお願いいたします。

まとめ

受付後、議場に案内し議場の説明と希望者は写真撮影も行い、ケーブルステーションも取材で来庁していた。参加保育所、幼稚園、夫婦、全てシャッフルで4つのグループを構成し、担当委員も含め、意見交換をおこなった。マタニティ期から出産までの良かったことの意見では、「妊娠できて幸せ」、「赤ちゃんのの匂いに癒やされる」「我が子を一番最初に抱いた感動」「支援サービスが充実してた」「産後ケアや家族が優しくった、手伝ってくれる人がいた」「お米券をもらえた」等、困ったことでは、「実家が遠い」「上の子のお世話」「マタニティタクシーがない」「出産費が足りない」「双子の会を知らなかった」「パパの育休を知らなかった」等、また、3歳になるまででの良かったことでは、「病気や災害の時でもあずけられたこと」「土曜日保育」「医療費無料」「保健師訪問」「おもちゃ図書館最高」等、困ったことでは、「暑い日、雨の日遊ぶ所がない」「オムツ、ミルクの出費」「仕事と育児の両立がキツイ」「夜泣きが酷い、イヤイヤ期」「待機児童」「公園の整備」「健診にかなり待たされる」等、あり、3歳から就学期での良かったことでは、「子育て支援が充実している」「児童手当がありがたい」「外出が楽になった」「育児（発達）相談の窓口があって助かった」「アレルギー除去食があって助かった」等、困ったことでは、「山家幼稚園、給食に」「親の体力」「インフルエンザ予防接種が高い」「二日市保育所の駐車場を広くしてほしい」「役員業務が負担が大きい」「病児保育の予約が取れやすくしたほしい」「児童館、プールがほしい」等、思い出しながら参加者はそれぞれの地域での違いや参考となった事などを活発に話し、カフェのような楽しい雰囲気だった。後半では、参加者の代表が各グループからでた意見や要望等を発表し、参加者全員で共有した。最後に今後の施策、提案等に繋げていくとまとめた。